

町のうごき

本籍数	5,794
本籍人口	17,459
世帯数	4,906
	(4,841)
住民登録	17,761
人口	(17,761)
内	{
	男 8,610
	女 9,151

4月1日現在

()内は3月1日現在

広報 てんのう

No.223

昭和56年

5月1日発行

発行・秋田県天王町役場 ☎(018878) 2211~4
 編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 ☎(0188) (23) 7477~8

「きょうから一年生」

「ランドセルは重いナー」

—元気にすこやかに—

4月4日、天王中学校の入学式を最初に、各小学校、幼稚園、保育園と続いて行われた。

ここ天王小学校では、今年入学した児童は145名。

父兄につきそわれて元気に登校した。

受け付けを終え、各教室に入ると、見知らぬ友だちが大勢で、みんなモジモジして、おとなしい1年生。

時間がたつにつれ、じょじょにいつものやんちゃな子どもに早がわり。

先生から一人一人名前を呼ばれると、大きな声で「ハイ」と返事をし、うしろで見守っているお母さんたちも、ホッと一息。

式典では各学級ごとに入場、先生と父兄から大きな拍手で迎えられた。

校長先生や来賓の方々のお話に目を輝かせて聞き入り、もう立派な一年生だ。

「町づくりは人づくりにあり」「人づくりは教育にある」の教育指針にもとづき、「環境が人をつくる」といわれるように各小中学校は近代的な永久校舎となりました。

若い小さな芽は、先生や父兄のあたたかい愛情に包まれ、大きく、たくましく育つことでしょう。



△ 「行儀もよく、ピッカピッカの一年生」



▷ 「お母さんにつきそわれて元気に登校」

天王町長選

無投票で藤原氏五選なる

任期満了にともなう天王町長選の立候補の届け出は、四月十三日午後五時で締め切られた。



藤原氏の略歴

東京外国語学校（現東京外

この結果、四月十二日の告示と同時に届け出た、現町長の藤原慶三郎氏以外に新たな立候補者はなく、無投票で五期連続当選となった。

語大）卒。
村議会議員一期。
昭和四十年に初当選して以来五期連続当選。
秋田県中央信用組合理事。
○生年月日
大正十年十月十日生（59歳）
○現住所
天王町天王字上江川四七一八一〇

ごあいさつ

天王町長 藤原慶三郎

このたび、みなさまの心強いご理解とご協力をいただき、五たび町政を担当することのできましたことを心から厚くお礼申しあげますとともに、責任の重大さを痛感しております。
今日の社会経済環境は、すでにご承知のとおり、誠に厳しいものがあります。今までは、高度経済成長、そして借金依存により地方自治がある程度財政的に恵まれましたが、住民の要望にこたえられませんが、その「しわ寄せとツケ」が一挙に到来し、その解決策を行政改革による増税なき財政再建、補助金の打ち切り、機構改革の簡素化等、歳出の削減と政

心の連帯感の醸成を

大きな影響をもたらすことは確実であることを正しくご理解していただきたいと思ひます。
また本町は、宅地開発の進行にともない、都市化現象が進み、いろいろの問題が生じてくることは確実であります。何よりも大切なことは、住民間の心の連帯

感の醸成です。住民意識の高揚こそ今後の最大の課題であり、人間らしい生活の追求、すなわち量より質、の町づくりこそ大切であると思ひます。町をつくるものは、そこに住む人々の責任と英知であります。行政と民間の果たす役割を各自が明確に認識しつづ取り組んでいく

に直面した時こそ真価が問われ、住民の英知と結束が必要であり、今こそ住民総参加による町づくりを実現しなければならぬと考えております。
私は過去十六年間、郷土天王町に職を得たことを誇りに思い、生きがいを感じております。
今後とも私心を去り、公私混同することなく、常に純粋な気持ちで責任感を持ち、的確な判断力と迅速な実行に心がけ、損得で物ごとを考へるのではなく、筋を通し、正邪の判断を誤らぬ、先見性のある行政を行ひ、町民各位の信頼と期待に応える覚悟であります。
今後ともよろしくご指導ご協力をお願い申しあげるとともに、みなさまのご健康とご多幸を祈念いたし申し上げます。
ごあいさつといたします。

交通指導隊員が新たなメンバーに

—隊長に鎌田悦郎氏—

任期満了にともない、天王町交通指導隊隊長が新たに任命された。同隊の隊長には、鎌田悦郎氏が、また副隊長には佐藤兼好、丸野内多助の両氏が選任された。近年、交通戦争はますます激化しているだけに、交

- 交通安全の指導、事故防止にと同隊の活躍が期待されます。
- ▽交通指導隊員名
- 隊長 鎌田悦郎 上江川
 - 副隊長 佐藤兼好 追分西
 - 丸野内多助 上北野
 - ▽隊員
 - 保坂正雄 大崎
 - 小沼力 二田
 - 稲島忠義 天王
 - 伊藤正一 江川
 - 武田清美 上戸
 - 安田幸男 羽立
 - 佐々木喜一郎 下戸
 - 佐藤憲男 二田
 - 高桑一男 天王

▽お願い△
広報係では、昭和二十年から三十年頃の天王町の風景、風俗的な写真をさがしています。
お心あたりの方は、役場広報係まで、ご連絡ください。

▽町消防団△ 副団長に吉田理之助氏



吉田理之助氏



桜庭喜八郎氏

天王町消防団副団長の桜庭喜八郎氏（塩口）が、一身上の都合により、三月二十六日付で消防団員を退職されました。

氏の永年のご労苦と今後の活躍をお祈りいたします。

桜庭氏は、昭和十四年四月一日に天王村消防団員を拝命し、昭和四十六年八月五日、天王町消防団副団長に昇格、四十二年間にわたり、町消防業務にご尽力されました。

同氏は、昭和二十二年九月十五日に天王村消防団員を拝命し、昭和四十三年十二月一日付で第五分団（大崎）分団長に昇格、現在に至っています。

B & G 財団

「児童、少年の船」

体験航海参加者募集

B & G 財団では、海事思想の普及事業の一環として、小学生、中学生、高校生を対象に、「児童の船」、「少年の船」を実施します。

「児童の船」は、体験航海と、B & G 沖繩海洋センター、また「少年の船」は、海外体験航海と、ゲーム、サイパンにおける現地での海洋教室等の研修を通じて、規律正しい団体生活の下に協調と、連帯の精神を養い、友情を深め、豊かな人間を形成し、併せて海洋思想の普及を図ることを目的としています。

「児童の船」

○実施期間

昭和五十六年八月五日、八月十一日(六泊七日)

○参加資格

(1)小学生(五、六年)、中

ちげ(鉤筍)

郷土史コーナー【103】

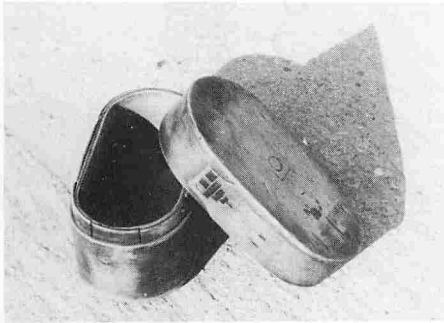
八郎潟の湖上をわたる風にも暖気が感じられる頃になると、ふくべ網、張切毛縄など大小様々の漁法による漁が盛んに行われた。

漁師は、ちげ(鉤筍)と呼ばれるまげ物の弁当箱を持って仕事に出かけた。

ひのきを材として造られたこのちげは、外法、縦二四・五センチ、横二四・五センチ、高さ一四センチの大きさであり、五合炊き用である。厚さが一・五センチ

ちほどで、二重になっており、断熱の用をなしている。接き目は、樺皮の樹皮で留められている。裏側に焼印が押されているところから察しられるように、漁家の大切な家財用具の一つとして扱われていた。

このちげに、五合炊いた米飯をへら(御飯杓子)で、箸をたてて持ち上げて落ちないぐらい押し込んで一分とした。しゃつこ(葉)は、別の小振りのちげに用意した。しかし、これでも空腹を覚えるほど漁の仕事は烈しかったと言う。



(石川記)

学生の男女

- (2) 船内生活及び海洋スポーツ活動、並びに団体生活に支障がないと医師が証明した者
- (3) 財団が行った昭和五十一年七月二十二日から昭和五十五年八月二十九日までの国内体験航海「沖繩海洋スポーツ教室」並びに「児童の船」に参加していない者

▽募集人員(小、中学生)

五名以内(申込み多数の場合、選考します)

▽申込み及び期日

○参加申込書(町公民館にあります)、○医師の診断書一通(四月一日以降発行のもの)、○参加費二万円(三万四千元のうち、町補助一万四千元)……を添えて五月九日(土)正午までに、町公民館へお申し込みください。

▽参加費に含まれないもの

自宅から集合地まで、及び解散地から自宅までの旅費。

「少年の船」

▽実施期間

(1) 高校生の部 昭和五十六年七月二十八日(八月四日(七泊八日))

(2) 中学生の部

昭和五十六年八月四日(八月十一日(七泊八日))

▽参加資格

(1) 中学生、高校生の男女 (2) 船内生活及び寄港地活動

歳時記

愛鳥週間

五月十日から一週間は愛鳥週間。

バード・ウィークともいいますが、自然環境のよしあしをはかるひとつのバロメーター、野鳥を守るための行事です。

日本では五百十種もの野鳥が観察されています。この時期は、野鳥と親しむには最高のシーズンです。ツバメ、ホトトギスなど夏鳥もいろいろ見られますし、南の方で冬を過ごし、



シベリア方面に繁殖のため旅をする「旅鳥」たちが、日本に立ち寄っていく姿も見られます。そして日本で繁殖する鳥たちのラブ・コールもさかんに聞かれます。それに、この季節は、落葉樹の葉がまだ茂っていないので、野鳥の観察(バード・ウォッチング)がしやすい上に、野の花も楽しめます。

愛鳥週間にはいろいろな催しが行われますが、メイン行事は、五月十日広島県の県民の森で環境庁、働日本鳥類保護連盟などの主催で行われる「全国野鳥保護のつどい」で、今年のテーマは「育てよう野鳥の歌う村や都市(まち)」となっています。

- (3) 財団が行った「少年の船」に参加していないもの

▽募集人員

(1) 高校生 三名以内 (2) 中学生 三名以内 (申し込み多数の場合は、選考します)

▽申込み及び期日

○参加申込書(町公民館にあります)、○医師の診断書一通(四月一日以降発行のもの)、○参加費五万円(経費二十万円のうち、財団補助十二万九千円、町補助二万一千円)を添えて五月九日(土)正午までに、町公民館にお申し込みください。

○渡航手続費用。 ○自宅から集合地まで、及び解散地から自宅までの旅費。

※ 詳細については、町公民館におたずねください。

B & G 「若人の船」

有意義な

体験航海

楽しかった洋上研修

海外体験航海、第四回B&G「若人の船」(香港、フィリピン共和国)が、三月二十一日から三十日(Aグループ)、三月三十日から四月九日Bグループ)の二回にわたって実施され、本町からは十名が参加しました。今回、研修に参加した佐藤肇さん、佐藤恵理さん、村山久尚さんが海外体験航海を通して、目で見、はだで感じたことをレポートしていただきました。

じるはずもなく、結局身ぶり手ぶりの交流が、かえって心と心のふれあいを生んだことと思う。

マニラを後にし、二十九日香港着。一步香港の街なみに足を踏み入れると、四十、五十階の建物がほとんど。反面、難民

アパートとの貧富の差をまざまざと見せつけられた感じがした。

翌三十日、啓徳空港から空路帰国したわけだが、B&G「若人の船」の団員として、会社の業務において、つねに社を代表しているという自覚を持ってお客さまに接するのと同様、外国では日本の代表としての誇りを自覚している自分に気付いたとき、今後私たちに続く、第五回以降の若人にも私以上のすばらしい体験を持って伝えることができると思います。

水道工事は指定業者に

町の簡易水道に加入すると、また、加入者が修理、改造、そして蛇口の増設等をするときは、町にその旨を申し込まなければなりません。その際、工事の設計や施行は町が指定した工事業者でなければできないことになっていきます。

町の指定工事業者は、次のとおりです。

○天王町天王字蒲沼

日設工業所 鎌田政満

○天王局四四五二

○天王町天王字上江川

天野ポンプ店 天野忠雄

○天王局五三六五

○天王町天王字塩口北野

三浦ポンプセンター

施設部 三浦四男

○天王局二三三五

○天王町天王字上北野

丸の内ポンプ店丸野内多助

○追分局三三二九

○天王町天王字不動下

合同設備 石川金孝

○天王局三五八二

○天王町天王字二田

佐藤ポンプ店 佐藤久紀

○天王局二六〇五

○天王町天王字追分西

長谷川ポンプ店長谷川政司

○追分局二二〇八

原地青年との楽しい交流会

藤 佐 田

不安と期待に高なる胸で、秋田から東京晴海埠頭へ。日本各地から集まった十八歳から三十三歳までの総勢四百五十名の結団式を終え三月二十一日マニラ・香港へと向けて、にっぽん丸による九泊十日の旅が始まった。

運動会を盛りこんだ洋上研修では、規律を重んじた船の生活の厳しさを体験することができた。また、学生時代クラブの合宿で味わって以来の本格的団体生活であり、相互理解とチームワークのまたとない実践の機会だった。

私自身、初めての海外体験なので、マニラ上陸の前夜は親しくなった他県の友と遅くまで語り合い、夢はすでにマニラへととんでいった。

明けて二十六日、午後から待望のフィリピン共和国の寄港地マニラへ上陸。なんと三十四度を超す猛暑にビックリ。一行を乗せたバスは、バトカー、白バイの先導で市内見学。夕方からは、現地の若人約百名を、にっぽん丸に迎えて楽しく、有意義な交歓会。今回の研修の中でも、強く心に残ったひとときであった。

現地青年との会話は、にわかじこみの語学力では通

総理府と運輸省の後援を得て、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団の「若人の船」の一員として、充実した研修の日々がスタートした。朝六時半起床。デッキに全員集合して朝の集い、七時半からの朝食が済むと各組ごとの英会話やレクリエーション、そして講話などいろいろな企画されていた。



船上にて団員たちと楽しいスナック (右から2人目が筆者)



△ “人間ピラミッド完成” 楽しかった組対抗洋上運動会

アツという間に過ぎ去った十日間

上北野 佐藤 恵 理

このたび私は、B&G財団主催の第四回「若人の船」Aグループの団員として、三月二十一日から十日間にわたり研修に参加しました。

この体験航海は、スポーツを通じて健全な青少年を育成しようという財団の主旨に基づくものです。

船内の生活は、起床六時半朝の集い及び朝食を終えた後九時から昼食をはさんで午後四時四十分まで、ユニークな講師陣による講義やレクリエーションが行われ、ロープワークや手旗信号、船に関することなどを学んだ。

団員は、三班が十組に分かれ、班には班長、各組にはリーダーがいて団員を把握し、集団の規律を保つようになっている。また一人一役ということで、各人がそれぞれの部に属して仕事を分担しあった。

最初の寄港地マニラには、出航六日目の二十六日の夕方に着いた。市内観光とリサール公園での献花式を終えてから、マニラの青年たちを船に招いて交流会を行った。立食パーティや歌、踊りなどを楽しみながらお互いの国の話に花を咲かせ有意義な時を過ごした。

マニラを出航したのは翌日の夕方、再び船での研修が始まった。

次の寄港地香港に着いたのが更に二日後の二十九日昼、ここでの活動は観光とショッピングで、次の日の午後には飛行機に乗って東京に向っていたのだから、十日間はアツという間の出来事というのが実感であった。

以上、淡々と述べてきたが、この体験

航海で得たものは実に大きかったと思う。規則正しい生活規律ある態度、集団の楽しさ難しさ、健康の大切さ、人との心のふれあいと友情のすばらしさ等々。

国賓なみの歓迎に感激

天王村山久尚

全国各地から、第四回B&G「若人の船」BグループにB&Gプラン推進町村、新聞広告などを見て参加した一般団員ら、四百三十六名が参加した。

研修は、三月三十日飛行機で香港へ、そして船でフィリピンのマニラを経由、四月九日東京晴海埠頭着、という日程だった。

香港での現地活動は、ハッピーバレーの百万ドルの夜景やタイガールバームガーデンなどの観光地、宝石加工工場見学、洋上レストランでの会食が主だった。

フィリピンでは、国賓のような歓迎に驚いた。同国にはB&G財団の笹川会長が多大な援助をしているため、国をあげての友好的な歓迎をしてくれた。

私たちは、バス十二台に分乗した。バスの先導には、パトカー、側面には白バイが付

私たちは、天王町に建設される海洋センターを利用し、町民のスポーツ熱をさらに高め、健康増進をはかることに積極的に協力しようとするって体験航海を終えた。

四月五日の洋上運動会では団員が一丸となって競った。行事部会の団員が、企画、運営、進行させた船内生活の最高に楽しい一日だった。

この研修に参加し、団体生活のあり方、船の中の生活B&Gプランの目的など多くのことを学んだ。

Aグループは、マルコス大統領の娘さん、そして現地青年たちとの交流があったのですが、Bグループは都合上出来なく、とても残念だった。

四月二日、異国の地を後に私たちは日本に向けて出航した。これからは、B&G財団の研修が本格的に始まるのだ。内容は、手旗、ロープワークそして、スポーツと健康、船と海洋、レクリエーションなど

海洋性スポーツに必要な知識実技指導をしてくれた。全国の見知らぬ若者たちは当初戸惑い気味であったが、研修やクラブ活動、部会を通じて友人が次々にふえた。

四月五日の洋上運動会では団員が一丸となって競った。行事部会の団員が、企画、運営、進行させた船内生活の最高に楽しい一日だった。

この研修に参加し、団体生活のあり方、船の中の生活B&Gプランの目的など多くのことを学んだ。

私は、天王町海洋クラブの指導員なので、この研修が大変有意義に、かつ今後の活動に大いにプラスとなった。

B&Gプランの推進とともに、海洋クラブの指導にも、意欲を持って頑張りたいと心に誓いました。

赤十字社員増強運動にご協力を

町社会福祉協議会では、五月一日から「赤十字社員増強運動」を実施します。

この運動は赤十字の人道的使命に基づき、国内、国外を問わず、活発な活動を展開し、不幸な人々に広く愛の手を差し

が、内外からの付託に十分応えるためには、なお一層の事業の拡充強化が必要となっております。

この使命を果たすため、本年度も「赤十字社員増強運動」を強力に推進し、社員制度の確立と私費の安定的な増収を図ることとしています。

近日中に、地域の奉仕委員の方々が訪問いたしますのでこの運動の趣旨にご賛同のうえ、ぜひ赤十字社員に加入し

● 社員とは、社員として毎年三百円以上を納めることになっていきます。

◎ 三百円以下は、寄付金となります。

赤十字は、あなたのご協力をお待ちしております。



現地の子どもたちと
いっしょに(右上が
筆者)
(フィリピンにて)

リサール公園で兵隊と
記念撮影(左側が筆者)
(フィリピンにて)



第10回 スポ少大会

かけ声も高らかに

—123名の団員が参加—



「メインノ」
気合いも高らかに

少年団から百二十三名の団員が参加、柔道、剣道、サッカーなど種目別にプログラムが消化された。

合、個人戦が行われ、「メイン、ドウ」とかけ声も勇ましく、日頃の練習成果を披露。また柔道は、団体戦、個人戦が行われた。団体戦では、井川、昭和を招待して熱戦を展開、本町は惜しくも準優勝に甘んじた。

第十回天王町スポーツ少年団大会が、三月二十九日、天王小学校体育館を会場に行われた。

この大会は、スポーツ少年団活動のいっそうの振興をはかるため、一年間の成果を確認し、反省し合い、今後の資質の向上をはかることを目的に行われたものです。

大会には、各地区のスポー

に攻撃的なパスワークとキックが見られ、体力のハンディをふきとばすかのように、大いに健闘、関係者から大きな拍手がおくられた。

また、閉会式では、三月に小学校を卒業した六年生団員二十五名に、本部長より卒業記念メダルが贈られた。

▽剣道個人戦

優勝 桜庭永毅(出戸剣)

準優勝 佐藤寛(西北剣)

三位 菊地聡(出戸剣)

〃 鈴木雄輝(天王剣)

▽柔道団体戦

優勝 井川

準優勝 天王

三位 昭和

▽柔道個人戦

優勝 大高康浩(天王柔)

準優勝 児玉慶(〃)

三位 小柳良勇(〃)

〃 桜庭智之(〃)

剣道級位審査会 百十一名が合格

【七級】佐々木浩三、佐々木啓、菊地篤、土門志吉、長門良幸、小野拓士、沢石淳、佐藤慈督、糸井由樹、池田幸代

木村真理、川本論、鈴木吉樹、佐々木修

【五級】長崎孝美、佐藤伸、長門紀幸、佐々木愛美、佐々木みえ、佐々木健、成田信之

石川渉、菊地宗太郎、小玉千嘉、渡部みや子、山中守、菅生幸恵、進藤恵子

【六級】佐々木雅明、鎌田健進藤治、長門卓哉、安藤立意

【四級】佐々木敏、佐々木創太、佐藤義之、加賀谷健、石

杉本知子、村田希、道萱健一

井剣、加賀屋潤、藤田浩、菊

地美加子、菊地尚子、一関智幸、大井幸喜、北条友紀、工藤勝、佐々木靖幸、鈴木一彦、後藤賢一郎、戸田聡一郎、伊藤若菜

法雄、伊藤正人、大淵岳史、石川浩、高橋弥、藤原敏雄、加賀谷朋博、半田学、上野政彦

【二級】斎藤真一、納谷亮浩、渡辺勝、長内健、佐藤武司、錦織勝、奈良勝、菊地聡、佐藤裕光、草皆紀彦、鎌田久志、石井由美子、武藤具子

【三級】長崎洋文、佐藤寛、小玉明年、小玉康史、桜庭永毅、武田伸子、鈴木雄輝、畔上鉄也、末田盛彦、松井博文、杉原龍太郎、佐々木由加子、伊藤由美、薄田志乃武、畠山

※お知らせ

予防接種(ツ反・BCG)を次の日程で行います。

▽対象者△
生後六カ月から四十八カ

安全運転を

地区 天王
女性運転者会
交通安全キャンペーン

「安全運転をお願いします。」
「気をつけて。」と大きな声が飛びかう。

天王地区女性運転者会(会



交通安全を呼びかける
会員たち

同会では、春の交通安全運動にちなみ、スピード運転、飲酒運転などの防止をはかるため実施したものです。

当日は、三十名もの会員が参加、県道をはさんで二組に分かれてキャンペーンを行いました。

警察官の指導のもとに、車が止まると、チラシを配り、安全運転を呼びかけた。

スピードの出し過ぎ、飲酒運転などをつつし、安全運転につとめましょう。

月の間に行う。

▽ツ 反△

五月十二日 追分分館

五月十三日 出戸地区老人

五月十九日 天王町公民館

五月二十日 天王本郷分館

▽BCG△

五月十四日 追分分館

五月十五日 出戸地区老人

いこいの家

五月二十一日 天王町公民館

五月二十二日 天王本郷分館

▽受けられない子ども△
(1)熱の高い子(37℃以上)
(2)かぜやその他で薬を服用している子

◎接種後の注意

(1)接種後は、自然にかわくまで洋服を着せなくてください。
(2)こすったり、バンソーコーをはったりしないでください。

※受付時間は、十二時三十分から、午後一時二十分までです。その際は、母子手帳を持参してください。



ちよつと “ひとこと”

むし歯予防は お母さんの手で

むし歯を作らないことが、育児の最も大切なポイントです。昨年行った1歳半健診のまとめから、今後の対策を考えてみましょう。

◎対象児 312人 ◎受診者 256人

▽歯に関する調査で

- ・むし歯のある子47人（ある子の1人平均4本）
- ・不正咬合21人
- ・その他の異常5人

▽アンケート項目から 歯みがきを……

- ・気をつけていない 22人
- ・気をつけている 191人
- ・みがき方（時々） 120人
- ・歯ブラシで 167人
- ・1人でやった後、親がみる 85人
- ・粉はつけない 147人

▽歯みがきについて、聞きたい内訳は

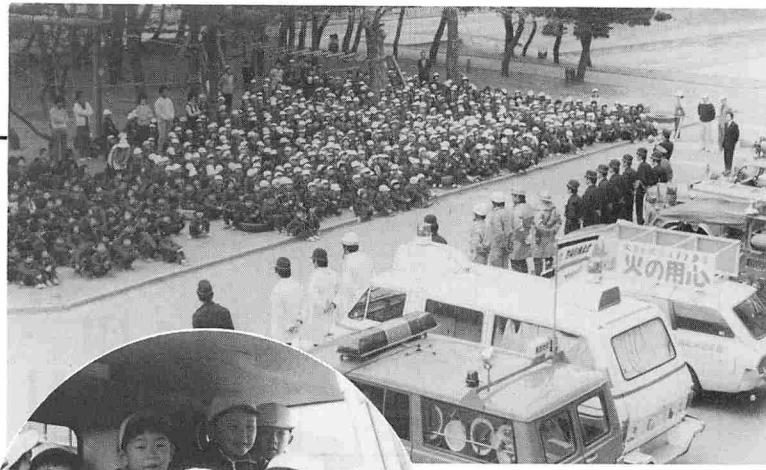
- (1) 子どもがいやがるので、よい工夫はないか。
- (2) 1人でやりたがるので、そのままやらせている。
- (3) 歯ブラシや粉は、まだ早いのではないか。
- (4) 粉は、いつ頃から必要か。また、好んでなめるなど、粉についての質問が多かった。
- (5) 甘いものは与えないが、むし歯になりやすい。

以上のことから、対策として、◎子どもには、できるだけ赤ちゃん用の歯ブラシを使用すること。（なければ、毛先の丸いもので、前2列だけ残し、カットしたものがよい）◎初めは、歯のはえ始め、6ヵ月頃からお誕生日までにかかって、歯ブラシを持たせてなじませましょう。

次に、1歳半から3歳までかかって、ブラッシングの習慣をさせましょう。しかし、上手にみがくことは無理なので、機嫌のよい時、例えばお風呂に入った時や、オムツをはずした時にお母さんのひざの上に寝かせ、歯の表面や歯と歯ぐきの間の食べ物カスを取り去ることで。あまり力を入れると歯ぐきを傷つけるので注意をしてください。歯みがき粉は、むし歯予防には役立ちませんので使用しないようにしましょう。

▽不正咬合の予防

- ・乳児のむし歯を治療すること。指しゃぶりは、早めに治しましょう。食事はよくかむ習慣をつけ、あごの発達をよくすること……などを守りましょう。
- ・歯は、つくり変えができません。お母さんの注意で、子どもをむし歯から守ってあげましょう。



四月十日、天王小学校で全校児童を対象に、消防学習会

四月十日に

天王小で 消防学習会

が開かれた。

これは男鹿地区消防事務一部事務組合が、子どもの火遊びによる火災が起きやすい時期でもあり、また春の火災予防運動にちなんで行ったものです。

校庭には、消防車や救急車が並び、その前に消防隊員がおのこのの服装に身を包んで整列、キビキビした動作に児童たちも目をパチクリ。

関係職員による、火災防止消防車の試乗に大喜び

の注意、そして消防の機能、消防隊員の服装などについての説明がなされた。

説明のあと、消防車などが一斉にサイレンを鳴らすと、児童たちは一瞬緊張し、表情をこわばらせた。

続いて、消防車や救急車が児童たちに開放されると、われもわれもと車にかけより、先生にしかられる一コマもあり、消防隊員もにが笑い。

最初に一年生から開放されると、消防車の試乗は初めてだけに運転席にすわり、ハンドルを回して大はしゃぎ。上級生たちは、今か今かと待ちかねていた。

児童たちの大きな反応に、消防学習会は、予想以上の効果あげた。

お知らせ

▽三ヵ月児健診

- ・とき 5月6日(水)
- ・対象 S 56年1月生
- ・受付 午後12時30分
- ↳ 午後1時

▽一歳半健診

- ・とき 5月8日(金)
- ・対象 S 54年10月生
- ・受付 12時30分
- ↳ 午後1時

▽六ヵ月児健診

- ・とき 5月11日(月)
- ・対象 S 55年11月生
- ・受付 12時30分
- ↳ 午後1時

▽離乳食教室

- ・とき 5月11日(月)
- ・対象 S 55年7・8月生
- ・受付 午前10時
- ↳ 10時30分

※会場は、いずれも町公民館です。

短歌

短歌会

洪谷 桜庭アヤエ
末孫の門出祝えて寂しかり
背広の肩を幾度もなでる

二田 桜庭スエノ
湯の宿で姉妹八人顔揃え想い
出話に笑い興ずる

江川 藤原キミエ
戸を開くれば灰かに匂う化粧
の香娘使いし部屋にのこりぬ

羽立 安田 ツル
人らみな笑み振舞えば聾なる
吾れも笑えり故も知らぬに

追分 中川スエノ
初孫にひと枝そえし桃の花日
差しこむ昼のひととき

二田 菊地 栄子
南雷も裏木戸鳴らすこの風も
春を運びて来しものなのに

俳句会
下出戸 佐々木汀月
薬湯のほどよきたぎり薪暖炉

天王 兎玉 伯秋
祝福の法王様に春の雪

追分 北島 節代
大合唱春の歌より出づる春

二田 村井 広子
あかぎれに葉擦りこみ灯を消しぬ

塩口 桜庭与三郎
病む友へ見舞の指圧春立ちぬ

天王 京谷 郷愁
猛吹雪鉄路のきしむ夜の旅
春泥に身をかわしつつ登校す
追分 鶴谷 トシ
蓬う人の柄を合せるうめの花

国民年金

国民年金保険料を病気で収入が少なくなったため、どうしても保険料の納付が困難な場合、保険料の免除される制度があります。

免除の種類には、二通りあって、ひとつは申請免除、これは県知事に納められないことを申請し、認められると免除になります。

申請の受け付けは、国民年金係で行っていますので、申請の際は印鑑を持参して手続きをしてください。

七月末日まで申請しないと四月から来年の三月分までの一年分は免除になりません。

免除の申請手続きは早目にしてほしい。

もうひとつは法定免除ですが、障害年金や母子福祉年金を受けている人、生活扶助を受けている人はこの免除に該当しません。

サラリーマンの奥さんなど任意加入の人は免除になりません。

詳細については、役場年金係におたずねください。



保険料免除の手続きを

五月一日から

印紙税税額が改正

印紙税法の一部が改正になり、五月一日以降に作成される文書について適用されることになりました。

主な改正点

▽税率の引上げ
最低税率は一通、または一冊につき二百円になりました。

また、それぞれの税率が二倍に引き上げられたほか、土地売買契約書、約束手形、売上代金の受取書などのうち、契約金額等の高額なものについては、二倍以上に引き上げられているものがあります。

詳しくは、秋田北税務署、または税務相談室におたずねください。

俳句「晩春」
渡部 六愁
三便の船着き島の花さかる
祭り夜の急患カルテにある
余白
野のすみれ捨てしタバコを
踏みしめる
桃の花散るとき別れを考える
指紋のない手で拭く涙春人形
新緑やあとは言葉がなくて
もしい
耳騒きの欲しいしめりや菜
種梅雨
畦を焼く匂い一個の村つつむ

お知らせ

二月に寄生虫の検便を行い寄生虫の該当者は、四月二十日に駆除を行いました。

寄生虫のいない方には、個人あて通知をいたしませんので、ご了承ください。

不用犬を回収

不用犬を次により回収します。

▽とき 五月六日(水)
午前九時までに、役場前に連れてきてください。

慶弔だより

お誕生おめでとう(三月中)

- 大崎 三浦 修一
- 道合 石川 和徳
- 上出戸 菊地 英世
- 塩口 桜庭 幸美
- 下出戸 佐々木 徹
- 持谷地 尾山 芳正
- 二田 菊地 照男
- ハラヘ 下間 義次
- 長女 かおり

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|------------|-----------|-------------|------------|-----------|------------|----------|------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--|----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 二田 工藤 博 | 羽立 安田 秀之 | 下狼縁 村井 茂美 | 上江川 渡会 久志 | 上江川 飯田 哲也 | 二田 石井 哲男 | 天王 大野 圭太 | 二田 真壁 聖一 | 大崎 吉田 新憲 | 持長根 伊藤 奈保子 | 児玉 佐藤 健一 | 持谷地 船木 光春 | ハラヘ 嗟峨 慎良 | 追分 小方 正仁 | 羽立北野 山田 正之 | 塩口北野 安田 正昭 | 北野 高橋 盛 | 二人の前途を祝福します | 二田 藤原 国雄 | 二田 藤原 ひとみ | 羽立 安田 徹 | 江川 藤原 先子 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二田 芳賀 正美 | 大崎 三浦 清美 | 西仙北町 吉田 洋子 | 棒沼台 花田 澄人 | 秋田市 佐々木 恵子 | 男鹿市 武藤 房雄 | 天王 京谷 美紀子 | 五城目町 佐藤 与志美 | 天王 柏崎 েম子 | 山本町 信太 謙二 | 天王 菊地 富美子 | 大阪府 光永 裕昭 | 大崎 三浦 真理子 | 上小阿仁 加賀谷 博隆 | 二田 菅生 敏勝 | 二田 菅生 敏勝 | 茨城県 知久 友則 | 天王 石黒 博美 | 愛知県 中島 匡寛 | 天王 村山 貞子 | 東京都 沼田 有作 | 二田 佐藤 貞子 | 男鹿市 菅生 なるみ | 男鹿市 小玉 比呂子 | 上江川 三浦 兼太郎 | 羽立 安田 儀彦 | 羽立 安田 儀彦 | 大崎 三浦 光洋 | 神奈川 堀内 善彦 | 長野 堀内 善彦 | 天王 村山 亮一 | 愛知県 加藤 亮一 | 細谷長根 小仲 純子 | 埼玉 里見 英次 | 羽立 菅生 貴美子 | 児玉 菅生 貴美子 | 千葉 菅生 貴美子 |
| 天王 柏崎 和人 | 神奈川 石井 真弓 | 追分西 山口 力 | 追分西 門間 知子 | 大崎 三浦 明浩 | 塩口 一関 真奈美 | 秋田市 武藤 利津子 | 塩口 桜庭 信男 | 秋田市 鎌田 清子 | 蒲沼 鎌田 清子 | 協和町 渡辺 睦子 | 大崎 三浦 千景 | 秋田市 佐藤 千景 | 羽立 佐藤 千景 | 男鹿市 佐藤 千景 | 秋田市 菅原 秀明 | 羽立 山寺 榮貴子 | 雄勝町 伊藤 豊 | 本庄市 小川 美也子 | 昭和町 渡辺 良一 | 下出戸 佐々木 啓子 | 埼玉 田辺 清澄 | 二田 堀井 勇子 | 上江川 畔上 一松 73歳 | 二田 大関 ツナ 76歳 | 大崎 三浦 テッソ 82歳 | 大崎 三浦 テッソ 82歳 | 上江川 石井 富蔵 84歳 | 鶴沼台 木元 長吉 75歳 | このたび、天王字下出戸 加賀谷久治郎さんより、父 市太郎さん死亡の際の香典返しとして、金五万円を町 社会福祉協議会に寄せられた。 | | | | | | | |

おくやみ申しあげます

このたび、天王字下出戸 加賀谷久治郎さんより、父 市太郎さん死亡の際の香典返しとして、金五万円を町 社会福祉協議会に寄せられた。

善意ありがとう